

銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～ 宮内中学校 学校だより

令和6年・2024年 辰年を迎え、3学期も元気に始動！

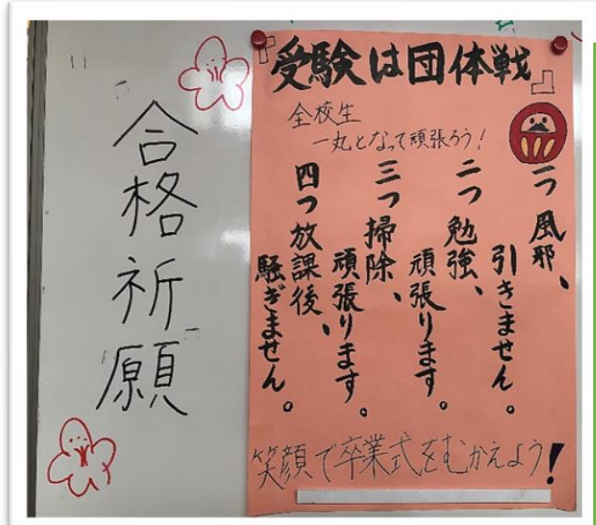
雪のない年越し、そして、令和6年・2024年を迎えました……。元日から、地震にみまわれ、また、航空機の衝突事故や全国各地での火災など、立て続けに発生する災害に今年1年の先行きが心配される年明けとなりました。

そのような話題もある中で、ND アスリートクラブの皆さんが南陽市民の思いを背負って迎えた元日のニューイヤー駅伝。私もテレビの前で応援をさせていただきましたが、過去最高の32位という成績はもちろんのこと、選手一人ひとりの懸命な走りに元気づけられました。「あの頃（走ることができていた心身ともに若かりし時）に戻りたい……。 」とも感じた元日でもありました。4日には、渡邊監督さんとお会いする機会があり、皆さんの激励が選手の大きな励みとなったとお礼の言葉をいただきました。

1月9日（火）に全校生で3学期始業式を迎え、令和6年を元気にスタートしました。2学期末とも違い、一段とたくましく大人びた姿を感じ、充実した3学期になることを予感しました。辰年の龍のように勢いよく成長し飛躍することを期待しています。



三年 松浦悠真さん 渾身の書
小一から嗜んできた心と技を披露して生徒玄関を飾ってくれました。感謝！



生徒会からのメッセージ
校内の至る所に掲示。全校生が一丸となつて取り組んでいきます。



大友先生の超大作！
昇降口前に掲示してあるチョークアート。秘めた才能を発揮しています！



新たな挑戦の「南陽みらい議会」 今年の活動を議場で総括!

今年度、南陽市の新たな取り組みとしてスタートした「南陽みらい議会」。その活動の総括が、12月26日(火)に南陽市議会議場にて行われました。

本校からは、1年近野心絢さんが、みらい副市長として、また1年木村奏さんがみらい議員として名乗りを上げ、市内中高生とともに南陽市を元気にするためのさまざまな議論と活動に取り組んできました。議場では、みらい市長の事業総報告やみらい副市長の決算報告、議員による質疑等が活発に行われました。二人とも、学校とはまた違った堂々とした姿で議会に臨んでいました。これまでの取り組みの一環で作成した動画「いいどご南陽」が南陽市役所のWEBページにも記載されています。ぜひ、ご覧ください。



この度の校内避難訓練を通して考えたいこと・・・

この度の能登半島地震を教訓にすべきことはたくさんあります。また、29年前の今日1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日でもあります。改めて、地震から命を守る大切さを考えなければなりません。

15日(月)に避難訓練を実施しました。今回は、授業中の地震発生を想定し、学級担任ではなく教科担任を中心とした避難とその経路について確認と訓練を行いました。今まで以上に真剣な姿で訓練に臨む姿があり、一人ひとりの心に宿る「命との向き合い方」を感じました。

今回の訓練を通し、今まで気づかなかった課題にぶつかりました。校内には、ズックを脱いで入る場所がいくつかあります。有事の際、集団で避難する際、そのズックをどうするのかということが浮き彫りになり、「足裏を守るためには必要」「すぐに屋外避難となれば、自分のものでなくともズックを確保しての避難も大事」などが考えられました。

また、体育館は鉄骨もあり照明器具もあることから、それを避けて揺れが収まるのを待つことや学習用具等を活用して頭を守りながら屋外避難することの必要性も出てきました。災害は、いつ起こるかわかりません。引き続き、命を守るための議論を続けてまいります。



南陽市中学生地域間交流セミナー 結団式
十六日(火)に沖繩県糸満市を訪問して行われる南陽市中学生地域間交流セミナー 結団式が行われました。本校から、二年大滝嵩さんが参加します。結団式では、「学んだことを南陽市のために生かしたい」と力強い抱負を述べてくれました。



【校長の独り言・・・】

ちよつと遅くなりましたが、新年おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年も、元日の朝、熊野大社に初詣に行きました。昨年もそうだったのですが、今年もその道すがら、宮内方面に鮮やかな虹がかかっていました。二年連続の素敵な自然現象に出会い、とても感激したところです。

熊野大社の拜殿で手を合わせた後、我が家恒例のおみくじに挑戦。なんと(福のおすそわけを込めて今年も公表します!)、今年も大吉でした!二年連続の大吉に、今年も縁起の良い年になることを実感しました。

しかしながら、新年早々の災害の連続。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々への哀悼の意を表したいと思います。まだまだ、復旧・復興の見通しが持てない状況にもあるようです。私たちにできることはないのだろうか、と考えることもありますが、まずは、それぞれができることをしっかりとやること。このことを大事にしていきたいと思えます。

また、今、目の前にある”当たり前の日常“に感謝したいと思えます。

